



## 薬剤師の仕事(保険薬局薬剤師)

10月17~23日は

「薬と健康の週間」です！

医薬品を正しく使用することの大切さ、そのために薬剤師が果たす役割の大切さを一人でも多くの方に知ってもらうために、ポスターなどを用いて積極的な啓発活動を行っています。

患者さんはかかりつけ薬局を決めておくと、市販薬なども含めたお薬の相談がしやすくなります。



## 医薬分業とは？

医師の診察後、病院でお薬ではなく処方せんをもらい、それを調剤薬局にもっていき、薬剤師からお薬を受け取ることをいいます。



### ☆医薬分業のメリット

- ・お薬の量や飲み合わせ、アレルギー、副作用等を確認して調剤するので、お薬の安全性が高まる
- ・他の病院と同じ薬が処方されていたり、飲み合わせが良くない場合など、医師に処方内容について問い合わせをすると、処方内容が変更や中止となることもある
- ・病院薬剤師は入院患者さんのお薬の管理・指導に力をいれることができ、開業医は薬の保管・管理などの業務から手が離れ、診療に一層力を入れることができるようになる

## 保険薬局薬剤師の仕事

基本は調剤です。保険調剤薬局の薬剤師は、保険医が発行する処方せんに基づいて調剤します。調剤というのは、単にお薬を作るのではなく、薬の量や飲み合わせ、服用方法などが適切であるかどうかをチェックし、場合によっては医師に問い合わせをし、患者さんにわかりやすい言葉で説明をし、薬の効果が100%発揮できるようにすることです。

お薬の名前、飲み方、効能・効果や副作用などについて説明し、お薬手帳への記録もします。飲み忘れ・飲み間違いを防ぐため、1回に飲むお薬を一包にまとめたりもします。特に複数の医療機関や診療科を受診している患者さんは、かかりつけ薬局を決めることをお勧めします。



## 処方せんを受け取ってからの具体的な流れ



①初めて来局した患者さんには、次のようなことを確認します

- ・患者さんの体質
- ・過去にかかったことのある病気
- ・タバコやお酒など
- ・妊娠中や授乳中ではないか
- ・小児の場合は体重
- ・一般用医薬品や健康食品
- ・お薬でアレルギーや副作用がおきたことはないか
- ・他の病院から処方されているお薬はないか



②処方せんに書かれている薬の量や飲み合わせのチェック。必要があれば処方医に問い合わせをします。他にも使用している薬があれば、それと重複していないか、飲み合わせは大丈夫かもチェックします。

③確認した患者さんの情報や処方内容を薬歴に記録します。



④正しい使用方法や注意しなければならないことについてお話ししながら、患者さんにお薬を渡します。薬剤師は処方された薬について説明することが義務付けられています。

患者さんとのお話はとても大切です。その中から薬の副作用が見つかることもあります。また、医師には話せなかったようなことを

をお話されていく方もいらっしゃいます。患者さんとの会話で確認できたことも薬歴に記録します。状況に応じて、医師に相談したり受診するようにアドバイスします。



⑤必要があるときには医師に情報を伝え、次回の診療へと繋げていきます。

## 調剤以外の仕事

- 在宅で介護が必要な患者さんの自宅へ訪問し、お薬を配達して服薬指導をしたり、お薬の相談にのったりします。ケアマネージャーの資格を取り、服薬以外の介護の相談やプランを作成している薬剤師もいます。
- 介護用品の相談や販売を行っています。それ以外の衛生用品、一般用医薬品、健康食品などの相談や販売も行います。
- 常に新しい情報を患者さんに提供するため、勉強会や研修会に参加したり、自分で学習をします。保険薬局でもそのための道具として、さまざまな雑誌を講読し、インターネットなども利用して知識の向上に努めています。



( 「知っておきたい薬の知識」厚生労働省 / 日本薬剤師会 /

岩手県薬剤師会 参照)



オーロラ薬局

TEL 019-635-1233

FAX 019-635-4555

オーロラ薬局 沼宮内店

TEL 0195-61-3883

FAX 0195-62-6868

オーロラ通信はバックナンバーを含めホームページでもご覧になれます。

<http://www.iwate-aurora.com/>